

人、音楽、自然——日本フィルのテーマです。



—— 創立指揮者 渡邊暁雄 ——

JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

# SUBSCRIPTION CONCERTS

2025

1

JAN

第 767 回  
東京定期演奏会

Ralph  
VAUGHAN  
WILLIAMS



SUHO  
Ryosuke



YAMADA  
Kazuki



Edward  
ELGAR



o.jawa

サントリーホール

2025年1月17日(金) 19:00 1月18日(土) 14:00

日本フィルハーモニー交響楽団







# Conductor

指揮

**山田 和樹**

YAMADA Kazuki

©Zuzanna Specjal

2009年第51回ブザンソン国際指揮者コンクールで優勝。ほどなくBBC交響楽団を指揮してヨーロッパ・デビュー。同年、ミシェル・プラッソンの代役でパリ管弦楽団を指揮して以来、破竹の勢いで活躍の場を広げている。2012年～2018年スイス・ロマンダ管弦楽団の首席客演指揮者、2012年～2022年日本フィルハーモニー交響楽団正指揮者、2016/17シーズンからモンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団芸術監督兼音楽監督、2023年4月からバーミンガム市交響楽団首席指揮者兼アーティスティックアドバイザーを務め、その後、2024年5月には同団音楽監督に就任。日本では、東京混声合唱団音楽監督兼理事長、学生時代に創設した横浜シンフォニエッタの音楽監督として活動、2026年4月1日より東京芸術劇場の芸術監督（音楽部門）に就任予定。

2023年はバーミンガム市交響楽団とのBBCプロムス、ボストン交響楽団とのタングルウッド音楽祭での

デビュー、そして秋にはバーミンガム市交響楽団とのドイツ、スイスツアーを、2024年春にはヨーロッパ各地でコンサートを行う。また、サンタ・チェチーリア国立アカデミー管弦楽団、ボストン交響楽団、トゥールーズ・キャピトル国立管弦楽団、フランス国立管弦楽団への定期的な客演、ベルリン・ドイツ交響楽団、オスロ・フィルハーモニー管弦楽団、スペイン国立管弦楽団、シカゴ交響楽団、ニューヨーク・フィルハーモニックにデビュー。2025年6月には、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団にデビューを予定している。

本質に迫るとともにファンタジーあふれる音楽づくり、演奏家たちと一体になって奏でるサウンドは、音楽の喜びと真髄を客席と共有し熱狂の渦に巻き込む、名実ともに日本を代表する人気マエストロである。はだのふるさと大使。ベルリン在住。



# Violin

ヴァイオリン

**周防 亮介**

SUHO Ryosuke

©JUNICHIRO MATSUO

1995年京都府生まれ。7歳よりヴァイオリンを始める。

2016年ヘンリック・ヴィエニャフスキ国際コンクール入賞及び審査員特別賞を受賞。ほか2009年にクロスター・シェンタール国際コンクール、2010年ダヴィッド・オイストラフ国際コンクール、2011年東京音楽コンクール、2012年日本音楽コンクールなど数々のコンクールで

戦は止まらない。その他『題名のない音楽会』、NHK-FM『ベストオブクラシック』などのメディアへの出演も多い。CDはオクタヴィア・レコードより無伴奏アルバム『ブラヴィッシモ』『パガニーニ：24のカプリース』やデュオ『歌う旅路』など5枚のアルバムをリリース。

これまでに岡本智紗子、岩谷悠子、小栗まち絵、大谷康子、原田幸一郎、神尾真由子各氏に師事。東京音楽大学特別特待奨学生としてアーティスト・ディプロマコースで学ぶ。在籍中にロームミュージックファンデーションの奨学生にも選ばれる。東京音楽大学を修了後、江副記念リクルート財団奨学生として、メニューイン国際音楽アカデミーに留学。マキシム・ヴェンゲーロフ氏、ルノー・カピュソン氏のもと研鑽を積んだ。使用楽器は宗次コレクションより貸与されている1678年製ニコロ・アマティ。



## プログラム・ノート 解説:等松 春夫

2025年最初の東京定期演奏会は、飛ぶ鳥を落とす勢いの山田和樹によるオール英国プログラム。エルガーの《威風堂々》第1番で幕を開け、今を時めく名手、周防亮介がヴォーン=ウィリアムズの佳品《揚げひばり》を奏でる。そしてエルガーの交響曲第2番。バーミンガム市交響楽団のシェフに就任し、英国音楽演奏の経験を深める山田氏が、この大作に初めて挑む。

### ❖ エルガー:行進曲《威風堂々》第1番 二長調 op.39-1

《エニグマ変奏曲》(1899年初演)と並んでエドワード・エルガー(1857-1934)を国民的作曲家に押し上げた作品。《威風堂々》の名を冠した行進曲は1901年から1930年の間に5曲書かれたが、第1番が圧倒的に有名である。1901年1月にヴィクトリア女王(在位1837-1901)が逝去し、沈滞していた英国社会の空気を払拭したかったとエルガーは語っている。

原題の‘Pomp and circumstance’とは、きらびやかな武具に身を固めた騎士たちが出陣を前にして続々と集まってくる様子 of 表現。エルガーが愛読していたウィリアム・シェイクスピア(1564-1616)の戯曲『オセロー』第3幕に由来し、これを「威風堂々」としたのは名訳と言えよう。1901年10月19日の初演直後から大ヒットとなり、たちまちエルガーの名刺代わりの曲となった。

3管編成の管弦楽にさまざまな打楽器とハープが加わる。3部形式で、

序奏～主部(2つの主題を持つ行進曲)～トリオ～再現部(行進曲)～コーダからなる。弦楽器主体で奏されるトリオの雄渾な旋律は、後に歌詞が付けられて「希望と栄光の国」と呼ばれるようになり、新国王エドワード7世(在位1901-1910)の即位を寿ぐ《戴冠式頌歌》(1902年初演)の終曲にも使われた。現在では英国の「第二の国歌」の扱いを受けている。コーダではこの旋律がトゥッティで再登場し、行進曲の第1主題も交え、煌びやかに全曲を結ぶ。

楽器編成:ピッコロ1、フルート2、オーボエ2、クラリネット2、バス・クラリネット1、ファゴット2、コントラ・ファゴット1、ホルン4、ホルネット2、トランペット2、トロンボーン2、バス・トロンボーン1、テューバ1、ティンパニ、大太鼓、小太鼓、シンバル、トライアングル、タンブリン、スレイベル、グロッケンシュピール、ハープ2、弦楽5部。

### ❖ ヴォーン=ウィリアムズ:

#### ヴァイオリンと管弦楽のためのロマンス《揚げひばり》

レイフ・ヴォーン=ウィリアムズ(1872-1958、以下RVWと略記)はエルガーと並ぶ英国音楽復興の立役者。中世イングランドの多声音楽や民謡など自国の音楽遺産の研究と活用に熱心であった。それらと並んでRVWの創作活動の源泉となったのが、文芸作品である。

《揚げひばり》は、ジョージ・メレディス(1828-1909)の同名の詩に触発され、名ヴァイオリニストのマリー・ホール(1884-1956)のために書かれた。メレディスは坪内逍遙や夏目漱石ら明治時代の文豪たちにも影響を与えたヴィクトリア朝時代英国の小説家・詩人。‘Lark ascending’の直訳は「舞い上がるひばり」であるが、俳句の春の季語「揚げひばり」と一致したため、日本ではこの訳が定着している。うららかな春の日に、可憐なひばりが飛翔するさまを描いた抒情的な詩である。

当初はヴァイオリンとピアノのための作品で1914年にほぼ完成していたが、第1次世界大戦の勃発とRVWの出征のため最終的に仕上げられたのは戦後の1920年であった。大戦勃発時にRVWはすでに40代であったが、志願衛生兵として戦場で傷病兵の救護に駆け回った。戦争が直接の作曲動機ではないが、その後のRVWの壮絶な戦場体験を想起す

ると、この曲にはたんなる自然讃歌ではなく、失われた者たちへの哀悼と平和への希求が感じられる。

オリジナル版の初演はホールの独奏で1920年12月15日にプリストルで行われた。その後、RVWは小規模な管弦楽(4種の木管、ホルン、トライアングル、弦楽5部)伴奏版を作り、この版の初演は1921年6月14日にホールの独奏、エイドリアン・ボールド(1889-1983)指揮ブリティッシュ交響楽団によってロンドンで行われた。現在ではエルガーの《威風堂々》と並んで、「英国音楽」の代名詞のような作品となっている。

作品は自由な3部形式。弦楽による短い静謐な導入に続いて、独奏ヴァイオリンが生き生きと主題を歌い出す。中間部はフルートによる懐かしさを感じさせる民謡風の旋律で始まる。独奏ヴァイオリンのトリルにトライアングル、木管、ホルンが絡む。独奏ヴァイオリンが民謡風の旋律をいとおしむように歌い、それを管弦楽が引継ぐ。管弦楽が静まると再び独奏ヴァイオリンが伴奏なしで第1部の主題を纏綿と奏で、曲は消えるように終わる。

楽器編成:独奏ヴァイオリン、フルート2、オーボエ1、クラリネット2、ファゴット2、ホルン2、トライアングル、弦楽5部。

## ❖エルガー:交響曲第2番 変ホ長調 op.63

「プログラムのない交響曲は芸術の最高形態である(The symphony without a programme is the highest form of art.)」と語ったエルガーは、未完のものを含め3曲しか交響曲を書いていない。完成された最後の交響曲となった第2番は、複雑な相貌を持つ。「まれにしか、本当にまれにしか来ない、汝、喜びの精霊よ!」という英国ロマン派の詩人パーシー・ビッシュ・シェリー(1792-1822)の詩の一節が楽譜の冒頭に掲げられ、「ヴェニス、ティンタジェル1910-1911」と楽想の始まりと作品完成の地名が記された。曲は公には1910年5月に崩御した「故エドワード7世国王陛下の想い出」に捧げられている。全編に溢れるノスタルジックな空気は、「エドワード時代」という短くも輝かしい時代への挽歌にも聞こえる。

それとは別に、この曲にはエルガーのミューズであったアリス・ステュワート＝ワートリー(1862-1936)という佳人への密かな想いも込められている。アリスは「オフィーリア」で有名なラファエル前派の画家ジョン・エヴァレット・ミレー(1829-1896)の娘で、国会議員の妻。アリスはエルガーの音楽の最高の理解者で、エルガーは彼女を「ウィンドフラワー(アネモネ)」の愛称で呼んでいた。愛妻家のエルガー

が道を外れることはなかったが、交響曲第2番の随所に、やるせない憧れが溢れ出る。作品完成の地ティンタジェル(イングランド南西部の村)は「アーサー王伝説」の舞台。この伝説の柱の一つはアーサー王、ギネヴィア王妃、騎士ランスロットの苦悩に満ちた三角関係である。一抹の諦念が漂う終楽章をエルガーが「情熱的な魂の巡礼」と語っているのも意味深長である。

1911年5月24日にロンドンでエルガー自身の指揮で行われた初演は、1908年の交響曲第1番の時のような圧倒的な成功は収められなかった。しかし、1920年代以降指揮者ボールトやジョン・バルビローリ(1899-1970)らの尽力によって徐々に評価が高まり、現在ではエルガーの神髄をもっともよく表す作品の一つと評価されている。3管編成の管弦楽に若干の打楽器とハープが加わる。

**第1楽章** アレグロ・ヴィヴァーチェ エ ノビルメンテ 変ホ長調 8分の12拍子

冒頭にエルガーが好んだ「ノビルメンテ」(高貴に)という語が記されている。ソナタ形式ではあるが、個々の明確な主題ではなく複数の主題群が織りなす重層的な楽章である。引き延ばすような序奏に続いて「喜びの精霊」を示す下降するモットー・テーマが現れる。このモットーは本楽

章の第1主題であると同時に、さまざまに形を変えながら全曲にわたり登場する。しばらく行進曲調の音楽が続いた後、ハープのアルペジオを伴って抒情的な第2主題群を弦楽器群が歌い始めるが、調性は揺れ動き続けて定まらない。やがて現れる不穏な旋律をエルガーは「庭隅にうずまく邪悪なもの」と表現しており、第3楽章ロンドの中心素材となる。お天気雨のように刻々と変化する気分が描かれ、ドミナント(Bb)からトニカ(Eb)への進行はほとんど現れない。モットー・テーマが輝かしく上昇して結ばれるコーダでようやく一瞬BbからEbへの移行が姿を見せる。

**第2楽章** ラルゲット ハ短調 4分の4拍子

悲痛な第1主題と慰めに満ちた第2主題が綾なす葬送行進曲調の楽章である。オーボエの慟哭に続いてトゥッティのオーケストラが滂沱と涙を流すさまは、ブルックナーの交響曲第7番の〈アダージョ〉のクライマックスを思わせる。コーダではクラリネットがモットー・テーマを侘しげに回想し、消え入るように終わる。

**第3楽章** ロンド・プレスト ハ長調 8分の3拍子

実質的にはコーダ付きのスケルツォである。終始焦燥に満ち、トリオでは第1楽章に現れた「庭隅にうずまく邪悪なもの」の旋律がタンバリンや

ティンパニの連打を伴って凶暴に跳梁する。エルガーはこの部分を「生きながら埋葬される恐怖」と語っている。

**第4楽章** モデラート エ マエストーソ 変ホ長調 4分の3拍子  
ソナタ形式。穏やかな第1主題に決然とした第2主題が続く。この第2主題をエルガーはハンス・リヒターのテーマと呼んだ(リヒターは《エニグマ変奏曲》や交響曲第1番の初演を成功させたオーストリア＝ハンガリー帝国出身の名指揮者)。

嵐が過ぎた後の平安の音楽とはいえ、随所に複雑な想念が姿を見せる。展開部は激しいフガートで始まり、最初の頂点でトランペットがつんざくようなB音を奏する。原譜では1小節のみであるが、初演の際に奏者が独断で1小節分長く吹いた効果を気に入ったエルガーは、その形での演奏も認めた。しばらく厳かな行進曲調の展開が続くと、再び楽章冒頭の穏やかな空気が戻ってくる。コーダでは第1主題に導かれてモットー・テーマが一瞬姿を見せる。「喜びの精霊」が宙空に消え入るさまは、雄大な日没と残照を思わせる。

楽器編成:フルート3(ピッコロ持替1)、オーボエ2、イングリッシュ・ホルン1、Eb管クラリネット1、クラリネット2、バス・クラリネット1、ファゴット2、コントラ・ファゴット1、ホルン4、トランペット3、トロンボーン2、バス・トロンボーン1、チューバ1、ティンパニ、大太鼓、小太鼓、シンバル、タンブリン、ハープ2、弦楽5部。



NEXT CONCERTS  
次回東京定期演奏会

第 **768** 回

サントリーホール

プレートク 広瀬 大介氏

2025年3月7日(金)19:00開演 18:30~

8日(土)14:00開演 13:20~

いよいよ待望の  
カーチュン・ウォンの《復活》!

指揮: **カーチュン・ウォン**  
[首席指揮者]

ソプラノ: **吉田 珠代**

メゾソプラノ: **清水 華澄**

合唱: **東京音楽大学**

マーラー: **交響曲第2番《復活》**



©Mariko Tagashira

©Angie Kremer

1回券料金 S ¥9,500 A ¥8,000 **完売** P 合唱団席 Ys (25歳以下) ¥2,000

※障害者手帳をお持ちの方は割引がございますので、サービスセンターにお問い合わせください。

次回東京定期演奏会指揮者にインタビュー!

カーチュン・ウォン 編

きき手 八木 宏之

—2025年3月の東京定期演奏会では、マーラーの交響曲のなかでもとりわけ人気のある第2番《復活》が取り上げられます。カーチュンさんとこの作品との出会いは、どのようなものだったのでしょうか?

私の交響曲第2番の原体験は、1973年にケンブリッジ近郊のイーリー大聖堂で収録されたバーンスタインとロンドン交響楽団の演奏のDVDで、その圧倒的なエネルギーにとっても感動したのを覚えています。最近公開されたバーンスタインの伝記映画『マエストロ: その音楽と愛と』でもこの演奏が再現されていました。

また第2番は、2016年のマーラー国際指揮者コンクールの課題曲のひとつでもありました。このコンクールで優勝したあと、マーラーの孫のマリーナさんと親しくなり、彼女はヨーロッパ各地にある家に招いてくださって、多くの時間を共に過ごしました。マー

ラーの作曲小屋があったオーストリアの避暑地、シュタインバッハも案内して下さり、そこで1週間以上ゆっくりと過ごしたこともありました。シュタインバッハの自然を堪能しながらハイキングをしたときには、頭のなかで第2番と第3番がずっと鳴り響いていました。こうした体験は、この作品を指揮するうえでとても意味のあるものです。

—2021年には、交響曲第2番の第1楽章の初稿にあたる交響詩《葬礼》を読売日本交響楽団と演奏していますね。

あのコンサートはとても格別なものであったと記憶しています。ご存知の通り、第2番は当初、《葬礼》というタイトルの交響詩として構想されました。これは第1番の創作プロセスと類似したものです。また第3楽章と第4楽章はマーラーの歌曲集《子供の不思議な角笛》と結びついています。私は第2番を指揮するより前に、台湾国立交響楽団、バリトンのトーマス・ハンブソンとともに、この歌曲集を演奏する機会を持ちました。初稿の《葬礼》を演奏した経験と、偉大な歌手と《子供の不思議な角笛》を共演した経験は、第2番を指揮するうえでとても役立っています。

—第3番と同様に第2番も多楽章の複雑な構造を持っています。どこに着目して聴くとこの作品をより楽しめるのでしょうか?

第1楽章は独立した交響詩としてスタートしたこともあり、非常に外向的な音楽ですが、続く3つの楽章は内向的なものです。一つひとつの楽章が強い個性を持っているので、交響曲全体で一貫した流れを大切にしながらも、各楽章は交響詩のように、キャラクターをはっきりと打ち出して演奏しなくてはなりません。第3楽章のスケルツォは「魚に説教するパドヴァの聖アントニウス」から来ていますが、ここでは魚にまで説教をする聖アントニウスをユーモラスに皮肉っています。しかしこうした馬鹿馬鹿しさも人間の側面なのです。第4楽章の「原光」はメゾソプラノによる、いにしへの光を思わせるような短い歌曲で、これも静かで内省的な音楽となっています。そのあとにいよいよ、「復活」のフィナーレがやって来るのです。マーラーはドイツの名指揮者、ハンス・フォン・ビューローの葬儀に参列した際、クロプシュトックの詩による「復活」の賛歌を聴いて、合唱を伴うクライマックスを着想しました。最終楽章の最後の7分こそがこの作品の真髓であり、この7分間をどう聴かせるかが、この作品の音楽体験を左右するのです。

—そのクライマックスの鍵となる声楽には、ソプラノの吉田珠代さん、メゾソプラノの清水華澄さん、そして東京音楽大学の合唱団がキャストされています。日本を代表する素晴らしい歌手と若き合唱団との共演ですね。

ソリストの吉田さん、清水さんとは今回が初共演となりますが、信頼する日本フィルのチームが推薦してくださったおふたりですので、とても楽しみにしています。東京音楽大学が素晴らしい学校だということもよく知っています。合唱で大切なのは人数ではなく、一人ひとりの声のクオリティです。今回は150人の合唱団ですが、まるで300人が歌っているかのような響きが生み出されることを期待しています。最後の7分間、天に昇るような時間を過ごすいただくために、ソリスト、合唱団、そしてオーケストラと共にベストを尽くすことをお約束します。

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金  
(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))  
独立行政法人日本芸術文化振興会

文化庁  
Agency for Cultural Affairs,  
Government of Japan

今後の日本フィル出演公演 2025年1月～3月

2025	公演/会場/日時	出演者/曲目	チケット/お問い合わせ
1月	2025都民芸術フェスティバル すみだトリフォニーホール 21[火]19:00	指揮:高橋 直史 ヴァイオリン:南 紫音 吉松 隆:鳥は静かに… シベリウス:ヴァイオリン協奏曲 シベリウス:交響曲第2番	お問合せ: 日本演奏連盟事務局
	第404回横浜定期演奏会 横浜みなとみらいホール 25[土]17:00	指揮:藤岡 幸夫 フルート:Cocomi 武満徹:組曲《波の盆》 モーツァルト:フルート協奏曲第2番 ルグラン: 交響組曲《シェルブールの雨傘》	日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット♪
	東京オペラシティ特別演奏会 東京オペラシティコンサートホール 26[日]14:00	指揮:園田 隆一郎 ギター:村治 佳織 ナビゲーター:高橋 克典 ロドリゴ:アランフェス協奏曲 サン＝サーンス:交響曲第3番 《オルガン付き》(オルガン:勝山 雅世)	日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット♪
	にじくら～トークと 笑顔と、音楽と 第6回 サントリーホール 29[水]14:00[予定枚数終了]	指揮:藤岡 幸夫 ピアノ:阪田 知樹 グリーグ:ピアノ協奏曲 シベリウス:交響曲第2番	お問合せ: 杉並公会堂
	日本フィル杉並公会堂シリーズ 2024-2025 第3回 杉並公会堂 31[金]15:00	指揮:下野 竜也 お話:加藤 昌則 ベルリオーズ:ローマの謝肉祭 ベルリオーズ:幻想交響曲	お問合せ: ひらしん 平塚文化芸術ホール
2月	素敵な音楽人へ with 日本フィルハーモニー交響楽団 ひらしん平塚文化芸術ホール 2[日]15:00	指揮:カーチン・ウォン[首席指揮者] ピアノ:仲道 郁代(2/11, 12, 14, 15, 19) チェロ:宮田 大(2/8, 9, 16, 18) エルガー:行進曲《威風堂々》第1番(全日程) エルガー:チェロ協奏曲(2/8, 9, 16, 18) シヨパン: ピアノ協奏曲第1番(2/11, 12, 14, 15, 19) チャイコフスキー: 交響曲第5番(2/8, 12, 14, 16, 19) ムソルグスキー(ラヴェル編曲): 組曲《展覧会の絵》(2/9, 11, 15, 18)	お問合せ: ひらしん 平塚文化芸術ホール
	第50回九州公演 日本フィル in KYUSHU 2025 8[土]15:00 長崎市民会館 9[日]14:00 大牟田文化会館 11[火・祝]14:00 北九州ソレイユホール 12[水]19:00 iichikoグランシアタ 14[金]19:00 都城市総合文化ホール 15[土]14:00 宝山ホール(鹿児島県文化センター) 16[日]14:00 アクロス福岡シンフォニーホール 18[火]19:00 佐賀市文化会館 19[水]19:00 熊本県立劇場コンサートホール	日本フィルeチケット♪	
	第405回横浜定期演奏会 横浜みなとみらいホール 22[土]17:00	指揮:小林 研一郎[桂冠名誉指揮者] ヴァイオリン:中野 りな チャイコフスキー:ヴァイオリン協奏曲 リムスキー＝コルサコフ: 交響組曲《シェエラザード》	お問合せ: 杉並公会堂
	コバケン・ワールドVol.39 サントリーホール 23[日]14:00	指揮とお話: 小林 研一郎[桂冠名誉指揮者] ピアノ:田部 京子 モーツァルト:ピアノ協奏曲第20番 リムスキー＝コルサコフ: 交響組曲《シェエラザード》	日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット♪
	春休みオーケストラ探検 杉並公会堂 29[土]①11:50/②15:50	指揮:和田 一樹 お話:石井 あみ ビゼー: 歌劇《カルメン》より「闘牛士の行進」 アンダーソン: シンコペイテッド・クロック エルガー:《威風堂々》第1番 ほか ※子どもたちの五感をひらく体験イベント あり	日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット♪
	第409回名曲コンサート サントリーホール 1[土]14:00	指揮:カーチン・ウォン[首席指揮者] ヴァイオリン:小林 美樹 伊福部昭:管絃楽のための《日本組曲》 チャイコフスキー:ヴァイオリン協奏曲 ムソルグスキー(ラヴェル編曲): 組曲《展覧会の絵》	日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット♪
	第768回東京定期演奏会 サントリーホール 7[金]19:00[売売] 8[土]14:00[売売]	指揮:カーチン・ウォン[首席指揮者] ソプラノ:吉田珠代 メゾソプラノ:清水華澄 合唱:東京音楽大学 マーラー:交響曲第2番《復活》	日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット♪
第148回さいたま定期演奏会 ソニックシティ 15[土]14:00	指揮:梅田 俊明 バレエ:牧阿佐美バレエ団 プロコフィエフ:《ロミオとジュリエット》 (ソニックシティ特別版)	日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット♪	
オービック・スペシャル・ コンサート2025 サントリーホール 17[月]19:00	指揮:小林 研一郎[桂冠名誉指揮者] ピアノ:高木 竜馬 ナビゲーター:朝岡 聡 グリーグ:ピアノ協奏曲 ドヴォルジャーク:交響曲第8番	日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット♪	
3月	杉並公会堂シリーズ2024-2025 第4回 杉並公会堂 21[金]15:00	指揮:小林 研一郎[桂冠名誉指揮者] ヴァイオリン:中野 りな チャイコフスキー:ヴァイオリン協奏曲 リムスキー＝コルサコフ: 交響組曲《シェエラザード》	お問合せ: 杉並公会堂
第405回横浜定期演奏会 横浜みなとみらいホール 22[土]17:00	指揮とお話: 小林 研一郎[桂冠名誉指揮者] ピアノ:田部 京子 モーツァルト:ピアノ協奏曲第20番 リムスキー＝コルサコフ: 交響組曲《シェエラザード》	日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット♪	
コバケン・ワールドVol.39 サントリーホール 23[日]14:00	指揮とお話: 小林 研一郎[桂冠名誉指揮者] ピアノ:田部 京子 モーツァルト:ピアノ協奏曲第20番 リムスキー＝コルサコフ: 交響組曲《シェエラザード》	日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット♪	
春休みオーケストラ探検 杉並公会堂 29[土]①11:50/②15:50	指揮:和田 一樹 お話:石井 あみ ビゼー: 歌劇《カルメン》より「闘牛士の行進」 アンダーソン: シンコペイテッド・クロック エルガー:《威風堂々》第1番 ほか ※子どもたちの五感をひらく体験イベント あり	日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット♪	

2025	公演/会場/日時	出演者/曲目	チケット/お問い合わせ
1月	2025都民芸術フェスティバル すみだトリフォニーホール 21[火]19:00	指揮:高橋 直史 ヴァイオリン:南 紫音 吉松 隆:鳥は静かに… シベリウス:ヴァイオリン協奏曲 シベリウス:交響曲第2番	お問合せ: 日本演奏連盟事務局
	第404回横浜定期演奏会 横浜みなとみらいホール 25[土]17:00	指揮:藤岡 幸夫 フルート:Cocomi 武満徹:組曲《波の盆》 モーツァルト:フルート協奏曲第2番 ルグラン: 交響組曲《シェルブールの雨傘》	日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット♪
	東京オペラシティ特別演奏会 東京オペラシティコンサートホール 26[日]14:00	指揮:園田 隆一郎 ギター:村治 佳織 ナビゲーター:高橋 克典 ロドリゴ:アランフェス協奏曲 サン＝サーンス:交響曲第3番 《オルガン付き》(オルガン:勝山 雅世)	日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット♪
	にじくら～トークと 笑顔と、音楽と 第6回 サントリーホール 29[水]14:00[予定枚数終了]	指揮:藤岡 幸夫 ピアノ:阪田 知樹 グリーグ:ピアノ協奏曲 シベリウス:交響曲第2番	お問合せ: 杉並公会堂
	日本フィル杉並公会堂シリーズ 2024-2025 第3回 杉並公会堂 31[金]15:00	指揮:下野 竜也 お話:加藤 昌則 ベルリオーズ:ローマの謝肉祭 ベルリオーズ:幻想交響曲	お問合せ: ひらしん 平塚文化芸術ホール
2月	素敵な音楽人へ with 日本フィルハーモニー交響楽団 ひらしん平塚文化芸術ホール 2[日]15:00	指揮:カーチン・ウォン[首席指揮者] ピアノ:仲道 郁代(2/11, 12, 14, 15, 19) チェロ:宮田 大(2/8, 9, 16, 18) エルガー:行進曲《威風堂々》第1番(全日程) エルガー:チェロ協奏曲(2/8, 9, 16, 18) シヨパン: ピアノ協奏曲第1番(2/11, 12, 14, 15, 19) チャイコフスキー: 交響曲第5番(2/8, 12, 14, 16, 19) ムソルグスキー(ラヴェル編曲): 組曲《展覧会の絵》(2/9, 11, 15, 18)	お問合せ: ひらしん 平塚文化芸術ホール
	第50回九州公演 日本フィル in KYUSHU 2025 8[土]15:00 長崎市民会館 9[日]14:00 大牟田文化会館 11[火・祝]14:00 北九州ソレイユホール 12[水]19:00 iichikoグランシアタ 14[金]19:00 都城市総合文化ホール 15[土]14:00 宝山ホール(鹿児島県文化センター) 16[日]14:00 アクロス福岡シンフォニーホール 18[火]19:00 佐賀市文化会館 19[水]19:00 熊本県立劇場コンサートホール	日本フィルeチケット♪	
	第405回横浜定期演奏会 横浜みなとみらいホール 22[土]17:00	指揮:小林 研一郎[桂冠名誉指揮者] ヴァイオリン:中野 りな チャイコフスキー:ヴァイオリン協奏曲 リムスキー＝コルサコフ: 交響組曲《シェエラザード》	お問合せ: 杉並公会堂
	コバケン・ワールドVol.39 サントリーホール 23[日]14:00	指揮とお話: 小林 研一郎[桂冠名誉指揮者] ピアノ:田部 京子 モーツァルト:ピアノ協奏曲第20番 リムスキー＝コルサコフ: 交響組曲《シェエラザード》	日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット♪
	春休みオーケストラ探検 杉並公会堂 29[土]①11:50/②15:50	指揮:和田 一樹 お話:石井 あみ ビゼー: 歌劇《カルメン》より「闘牛士の行進」 アンダーソン: シンコペイテッド・クロック エルガー:《威風堂々》第1番 ほか ※子どもたちの五感をひらく体験イベント あり	日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット♪
	第409回名曲コンサート サントリーホール 1[土]14:00	指揮:カーチン・ウォン[首席指揮者] ヴァイオリン:小林 美樹 伊福部昭:管絃楽のための《日本組曲》 チャイコフスキー:ヴァイオリン協奏曲 ムソルグスキー(ラヴェル編曲): 組曲《展覧会の絵》	日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット♪
	第768回東京定期演奏会 サントリーホール 7[金]19:00[売売] 8[土]14:00[売売]	指揮:カーチン・ウォン[首席指揮者] ソプラノ:吉田珠代 メゾソプラノ:清水華澄 合唱:東京音楽大学 マーラー:交響曲第2番《復活》	日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット♪
第148回さいたま定期演奏会 ソニックシティ 15[土]14:00	指揮:梅田 俊明 バレエ:牧阿佐美バレエ団 プロコフィエフ:《ロミオとジュリエット》 (ソニックシティ特別版)	日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット♪	
オービック・スペシャル・ コンサート2025 サントリーホール 17[月]19:00	指揮:小林 研一郎[桂冠名誉指揮者] ピアノ:高木 竜馬 ナビゲーター:朝岡 聡 グリーグ:ピアノ協奏曲 ドヴォルジャーク:交響曲第8番	日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット♪	
3月	杉並公会堂シリーズ2024-2025 第4回 杉並公会堂 21[金]15:00	指揮:小林 研一郎[桂冠名誉指揮者] ヴァイオリン:中野 りな チャイコフスキー:ヴァイオリン協奏曲 リムスキー＝コルサコフ: 交響組曲《シェエラザード》	お問合せ: 杉並公会堂
第405回横浜定期演奏会 横浜みなとみらいホール 22[土]17:00	指揮とお話: 小林 研一郎[桂冠名誉指揮者] ピアノ:田部 京子 モーツァルト:ピアノ協奏曲第20番 リムスキー＝コルサコフ: 交響組曲《シェエラザード》	日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット♪	
コバケン・ワールドVol.39 サントリーホール 23[日]14:00	指揮とお話: 小林 研一郎[桂冠名誉指揮者] ピアノ:田部 京子 モーツァルト:ピアノ協奏曲第20番 リムスキー＝コルサコフ: 交響組曲《シェエラザード》	日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット♪	
春休みオーケストラ探検 杉並公会堂 29[土]①11:50/②15:50	指揮:和田 一樹 お話:石井 あみ ビゼー: 歌劇《カルメン》より「闘牛士の行進」 アンダーソン: シンコペイテッド・クロック エルガー:《威風堂々》第1番 ほか ※子どもたちの五感をひらく体験イベント あり	日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット♪	

日本フィル・サービスセンター TEL:03-5378-5911[平日10時-17時]  
日本フィルeチケット♪ <https://eticket.japanphil.or.jp>

公演の詳細は日本フィル・ホームページでご確認ください。www.japanphil.or.jp





2024/2025 春季シーズン新規定期会員募集

1回券  
好評発売中

2024/2025シーズン  
東京  
日本フィルハーモニー交響楽団  
東京定期演奏会

会場/サントリーホール  
金曜日/19:00開演 土曜日/14:00開演  
プレトーク「本日の聴きどころ」  
金曜日/18:30~ 土曜日/13:20~

2025 3 March	【第768回】 7日(金)、8日(土) 【1回券】S席 ¥9,500 A席 ¥7,000 B席 ¥6,000 C席 ¥6,000 完売 D席 ¥7,000 Ys席 ¥2,000	指揮:カーチュン・ウォン[首席指揮者] ソプラノ:吉田 珠代 メソソプラノ:清水 華澄 合唱:東京音楽大学 マーラー:交響曲第2番《復活》
2025 4 April	【第769回】 11日(金)、12日(土) 【1回券】S席 ¥9,000 A席 ¥7,500 B席 ¥6,500 C席 ¥5,500 P席 ¥5,000 Ys席 ¥2,000	指揮:アレクサンダー・リープライヒ ヴァイオリン:コリヤ・ブラッハー ハイドン:交響曲第79番 ポリス・ブラッハー:ヴァイオリン協奏曲 アイヴズ:答えない質問 R.シュトラウス:交響詩《ツァラトゥストラはかく語りき》
2025 5 May	【第770回】 9日(金)、10日(土) 【1回券】S席 ¥9,000 A席 ¥7,500 B席 ¥6,500 C席 ¥5,500 P席 ¥5,000 Ys席 ¥2,000	指揮:カーチュン・ウォン[首席指揮者] ピアノ:サー・スティーヴン・ハフ 芥川也寸志:エローラ交響曲 プリテン:バレエ音楽《バゴダの王子》組曲 ブラームス:ピアノ協奏曲第1番
2025 6 June	【第771回】 6日(金)、7日(土) 【1回券】S席 ¥8,500 A席 ¥7,000 B席 ¥6,000 C席 ¥5,000 P席 ¥4,500 Ys席 ¥2,000	指揮:ガボール・タカーチ=ナジ チェロ:ミクローシュ・ペレーニ ドヴォルジャーク:チェロ協奏曲 ブラームス:ハイドンの主題による変奏曲 モーツァルト:交響曲第41番《ジュピター》
2025 7 July	【第772回】 11日(金)、12日(土) 【1回券】S席 ¥8,500 A席 ¥7,000 B席 ¥6,000 C席 ¥5,000 P席 ¥4,500 Ys席 ¥2,000	指揮:広上 淳一[フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)] バス・クラリネット:フランス・ムソー 女声合唱:東京音楽大学 佐藤聰明:バス・クラリネット協奏曲 ホルスト:組曲《惑星》

2024/2025シーズン  
横浜  
日本フィルハーモニー交響楽団  
横浜定期演奏会

会場/横浜みなとみらいホール  
土曜日/17:00開演  
オーケストラ・ガイド/16:20~

2025 3 March	【第405回】 22日(土) 【1回券】S席 ¥8,500 A席 ¥7,000 B席 ¥6,000 C席 ¥5,000 P席 ¥4,500 Ys席 ¥2,000	指揮:小林 研一郎[桂冠名誉指揮者] ヴァイオリン:中野 りな チャイコフスキー:ヴァイオリン協奏曲 リムスキー=コルサコフ:交響組曲《シェエラザード》
2025 4 April	【第406回】 19日(土) 【1回券】S席 ¥8,500 A席 ¥7,000 B席 ¥6,000 C席 ¥5,000 P席 ¥4,500 Ys席 ¥2,000	指揮:ピアノ:横山 幸雄 シヨパン:ポーランドの歌による幻想曲 シヨパン:演奏会用 Rond(クラコヴィアク) シヨパン:ピアノ協奏曲第1番
2025 5 May	【第407回】 31日(土) 【1回券】S席 ¥8,500 A席 ¥7,000 B席 ¥6,000 C席 ¥5,000 P席 ¥4,500 Ys席 ¥2,000	指揮:ガボール・タカーチ=ナジ ピアノ:三浦 謙司 シューベルト:交響曲第7番《未完成》 モーツァルト:ピアノ協奏曲第21番 コダーイ:組曲《ハーリ・ヤーノシュ》
2025 6 June	【第408回】 14日(土) 【1回券】S席 ¥9,000 A席 ¥7,500 B席 ¥6,500 C席 ¥5,500 P席 ¥5,000 Ys席 ¥2,000	指揮:小林 研一郎[桂冠名誉指揮者] ヴァイオリン:千葉 清加[日本フィル・アシスタント・コンサートマスター] モーツァルト:ヴァイオリン協奏曲第3番 マーラー:交響曲第1番《巨人》
2025 7 July	【第409回】 5日(土) 【1回券】S席 ¥8,500 A席 ¥7,000 B席 ¥6,000 C席 ¥5,000 P席 ¥4,500 Ys席 ¥2,000	指揮:原田 慶太楼 ピアノ:阪田 知樹 ラフマニノフ:ヴォカリーズ(管弦楽版) ラフマニノフ:バガニーニの主題による狂詩曲 ラフマニノフ:交響曲第2番

春季(全5回) 好評発売中!  
S席 ¥29,000 A席 ¥23,000 B席 ¥20,000 C席 ¥18,000 【東京】P席 ¥12,700(全4回) 【横浜】P席 ¥15,800 Ys席 ¥9,000

Ys(25歳以下)…S席以外から選べます。

【お問い合わせ・お申し込み】日本フィル・サービスセンター  
TEL:03-5378-5911[平日10時-17時] 日本フィルチケット♪ <https://eticket.japanphil.or.jp>

Playback

プレイバック

10月、11月の公演を  
振り返ります



PHOTO 1 10月21日 落合陽一×日本フィル《変幻する音楽会》サテライト公演 in SADO  
落合陽一×日本フィル《変幻する音楽会》サテライト公演をアミューズメント佐渡で開催。藤倉大へ委嘱した「Demon Dance」では地元の畑野熊野神社祭典青年鬼組の皆さまと共演。落合さん制作の迫力の映像!島内の小中学生を招待し、めったにないクラシックの生演奏を集中して聴いていただきました。



PHOTO 2 10月27日 名曲コンサート  
フレンド・オブ・JPO広上淳一マエストロとのヴェルディのレクイエム。協会合唱団による迫力ある歌声が響きました。ソリストは中村恵理さん、福原寿美枝さん、宮里直樹さん、高橋宏典さんでお届けいたしました。前半には長井浩美さんによるオルガンの独奏を。終演後にはマエストロからのご提案により、能登半島地震及び豪雨災害支援のための募金活動を行いました。皆様ご協力ありがとうございました。



PHOTO 3 11月1日、2日 東京定期\*  
フランソワ・ルルーさん再び!マエストロの身体から溢れる出るハッピーな音楽に引っ張られ、充実のリハーサルを経て、オーボエ奏者としてはもちろん、指揮者としても超一流のマエストロの音楽性を体感する2日間でした。そしてジェントルでチャーミングなマエストロとみんなで記念撮影!



PHOTO 4 11月4日 杉並区×日本フィル友好提携30周年記念「わくわくクラシック」  
セッション杉並にたくさんの子どもたちが集まり、弦楽器の音色に耳を傾けたり、クラリネットとトロンボーンも登場して、管楽器の魅力にも迫りました!最後はみんなで歌って踊って大盛況!



PHOTO 5 11月9日 さいたま定期演奏会  
小林マエストロ、小山実稚恵さんとともにラフマニノフのピアノ協奏曲第2番と、リムスキー=コルサコフの《シェエラザード》をお届けしました  
終演後、お二人と《シェエラザード》でも大活躍のコンマス木野雅之と共にばっちり



PHOTO 6 11月10日 秋川フレッシュ名曲コンサート  
鈴木織衛マエストロ、ヴァイオリン前田妃奈さん、コンマス木野雅之で記念撮影。国民楽派の楽団で構成された個性的なプログラムをお楽しみいただきました!

\*日本フィルのライブ・アーカイブ配信はMember's TVU CHANNELで。  
<https://members.tvuch.com>



# あらゆる人々へ、あらゆる世代へ、 あらゆる地域へ、世界へ

## 九州公演50年～未来へ翔けるオーケストラの響き～

1975年に始まった九州公演は、この度第50回という大きな節目の年を迎えます。困難を極めたコロナ禍でも、“オーケストラの灯を消してはならない”という決意で1年も途切れることなく、日本フィルサウンドを九州の地に届けてまいりました。

この公演の最大の特徴は、すべての地域においてボランティア市民の自主的な参加による実行委員会との協働で行われていることです。音楽は人々に励まし、癒し、生きる力を与え、子どもたちに創造力や物事に立ち向かう勇気を与えます。“市民とともに”を掲げて継続されてきたこの活動は、時を重ねて今やホールや地方自治体からも地域に真に根ざした文化活動として高く評価され、文化庁の「劇場・音楽堂等機能強化推進事業」としての助成を採択され続けています。世界にも類を見ない大きなプロジェクトとして、音楽家からも驚嘆と尊敬の存在として、出演を熱望されるまでになっております。



第50回九州公演ページ▶

### ◆九州での社会貢献活動～2月の公演に先立つ地域訪問コンサート～

2024年11月下旬と12月中旬の2回、日本フィルメンバーによる弦楽四重奏が各地を訪れました。学校や病院、地域の人々の集う場で生演奏をお届けするこの活動は、次のような目的で行われています。

- ①オーケストラやクラシック音楽に親しみを感じていただくこと
- ②コンサートを聴きに行くことができない環境の方に生の演奏を届けること
- ③児童・青少年の情操をはぐくむ教育的な活動

多くの方から「生演奏を初めて身近に聴いて、心が満たされた」「小さい子どもも一緒に楽しめた」と嬉しいお声をいただきました。

11/16宮崎県都城市志比田子ども園▶



月/日	地域	編成	訪問先・内容
11/11(月)	福岡	[弦楽四重奏]	障害者支援センター「木の実」、福岡市子ども病院、草ヶ江公民館
11/12(火)	北九州	本田 純一	下関天使幼稚園、清見支援センター、甲宗八幡宮
11/13(水)	大分	遠藤 直子	大分銀行ウエズデーコンサート、別府鉄輪「富士屋」一也百
11/14(木)	大牟田	江藤 史織	天の原小学校、大牟田保養院、イオンモール大牟田店
11/15(金)	都城	山田 智樹	都城市役所ロビー、三股中学校
11/16(土)			志比田子ども園
12/2(月)	長崎	[弦楽四重奏]	長崎県庁展望ラウンジ、長崎ブリックホール国際会議場
12/3(火)	唐津	遠藤 直子	鏡山小学校、済生会唐津病院、高齢者ふれあい会館「りふれ」
12/4(水)	佐賀	伊藤 太郎	若楠療育園、ギャラリー「奏楽庭」(2回公演)
12/5(木)	熊本	小中澤 基道	FM熊本「インスタイル」生出演、サントリー九州熊本工場
12/6(金)	鹿児島	山田 智樹	鹿児島市民アートギャラリー、喜入中学校、きいれ浜田クリニック

### ◆第50回九州公演 記者会見

12月11日にアクロス福岡にて、カーチュン・ウォン(日本フィル首席指揮者)、平井俊邦(日本フィル理事長)、河野英雄(長崎日本フィルの会長)が登壇し、九州公演に向けて長年の支援への感謝と公演への抱負等を語りました。



記者会見の詳細内容はこちらから▶



音楽の森 賀澤 美和



ウテナ広告

ず  
す  
う  
つ  
こ  
る  
と  
こ  
お  
や  
か  
に  
い



お求めはお近くのスーパー、ドラッグストア等で。

自然派のロングセラー アロエエキス配合スキンケア  
(保湿成分)  
ウテナ モイスチャーは1983年生まれ いつもずっと あなたのそばに



株式会社 ウテナ  
〒157-8567 東京都世田谷区南鳥山1-10-22  
お客様相談室 0120-305411 www.utenaco.jp